



歌小だより

楡

す(進んで学ぶ子) た(助け合う子) あ(明るく元気な子)

自分で考え決める夏に～生活も安全も学習も～

校長 俵 あゆ子

1学期も、いよいよ締めくくりの時期を迎えました。7月の子どもたちには、学習にも生活にも、自分で考え、やるべきことに進んで向かう姿が際立っていました。

中学年は、総合的な学習の時間に、今年も成澤さんの手ほどきを受け、ヤツメウナギの放流を体験しました。地域の自然や生き物に直接触れる、貴重な学びとなりました。

高学年は、学習をぐいぐいと進め、振り返りや自分の考えを自分の言葉で伝えられるようになってきました。持久走記録会に向けた練習にも、暑さに負けず取り組んでいます。学ぶとき、運動するとき、休むときのメリハリにも成長を感じます。

低学年も大きく成長しました。1年生は、ひらがなやカタカナ、漢字を書き、作文にも取り組めるようになりました。劇化を通して、物語の世界も豊かに表現しています。2年生は、お手本をよく見て学び、生き物の世話や係、当番にも進んで取り組みました。ペープサートで物語を表現する姿にも、頼もしいお兄さん、お姉さんとしての成長が表れています。



↑ 暑さに負けず持久走に取り組む5・6年生



←劇化で物語の読みを深める1年生

ペープサートで読みを深める2年生 →



全国では、子どもの交通事故や水の事故など、心配な出来事が続いています。夏休みは、外出や遊びの機会が増えます。道路や駐車場、海や川、大人のいない場所、悪天候の日、自動車の中など、身近な危険について家族で話し合ってください。自転車のヘルメットやメディア利用のルールも確認し、自分の命を守る行動を考えてほしいと思います。

事故やけがなく、2学期に全員が元気な笑顔で再会できることを願っています。

←歌登の自然に学ぶヤツメウナギの放流(3・4年)

